

講義レジュメ

講師 高梨俊夫

内容・テーマ

7 社会教育施設の経営・社会教育施設の経営の実際と連携

期 日 平成28年2月2日

I 平成27年度 千葉県立中央博物館の概要

1 沿革

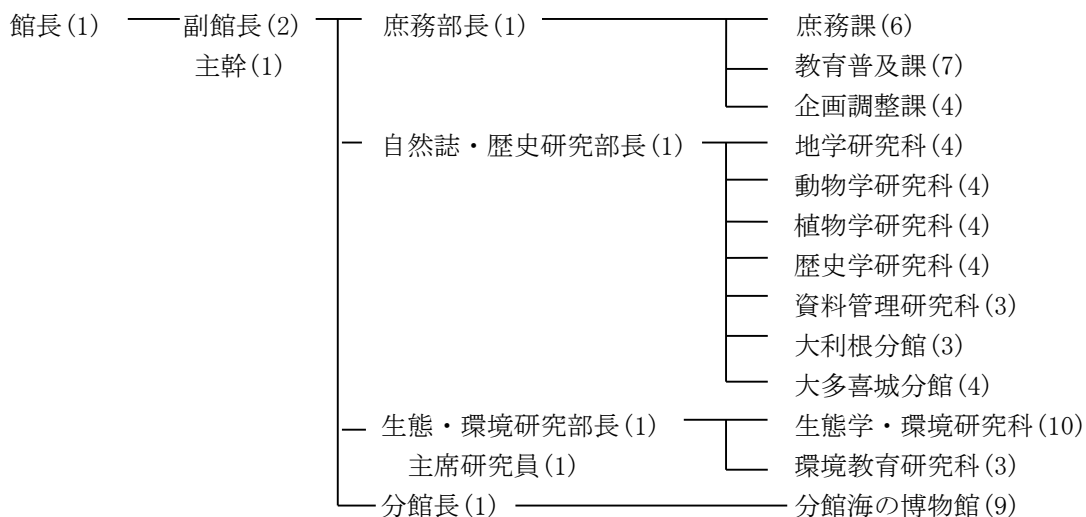
千葉県立中央博物館は、昭和43年にまとめられた県立博物館設置構想（48年・55年改訂）に基づき、昭和59年に基本構想を策定、平成元年1月11日に機関設置、同年2月7日に開館した。平成11年3月12日には、勝浦市に分館海の博物館を開館し、平成18年4月1日からは組織変更により、大利根博物館を大利根分館、総南博物館を大多喜城分館とそれぞれ改称し、中央博物館の分館として再編した。

2 常設展示の内容と活動概要

千葉県立中央博物館は「房総の自然と人間」を常設展示の全体テーマとし、千葉県の自然と歴史について学べる総合博物館である。常設展示は、「房総の自然誌」、「房総の歴史」、「自然と人間のかかわり」の3つの主要な展示から構成されている。隣接する生態園では、房総の代表的な自然が再現され、動植物の生態を身近に観察することができる。また、分館海の博物館では、「房総の海の自然」を体験的に学べる展示を行い、大利根分館では、「利根川の自然と歴史」や「水郷の水運と稲作」、大多喜城分館では「房総の城と城下町」や「武器・武具」について学べる展示を行っている。

中央博物館では地学、動物、植物、生態、環境、歴史について、千葉県はもとより、国際的な視野にも立ち、調査研究、資料の収集・整理、保存活動を行い、情報の集積・発信基地となるように努めている。これらの活動の成果は、展示、講座・観察会などの教育普及活動、研究発表などをおして広く紹介している。

3 組織(人数)



4 企画展示等の状況

(1) 企画展

	タイトル	開催期間
本館	妖怪と出会う夏 in Chiba 2015	7月11日(土)～9月23日(水祝)
大利根分館	母の祈りー利根川下流域の女人信仰ー	5月30日(土)～6月28日(日)
大多喜城分館	甲冑とその時代	10月23日(金)～12月6日(日)

(2) 季節展・テーマ展

	タイトル	開催期間
本館	春の展示「世界の遺跡から出土した貝～現生標本からみる色や形・利用法～」	3月7日(土)～5月10日(日)
	秋の展示「水草～ふしぎがいっぱい、水辺のいろどり～」	10月31日(土)～28年2月14日(日)
	春の展示「石材が語る～火山がつくった日本列島～」	28年3月12日(土)～6月5日(日)
大利根分館	写真展「水郷のまつりー昭和を中心にー」	4月1日(水)～5月10日(日)
	夏休み展示「収蔵室からお中元ーこれって何？」	7月18日(土)～8月30日(日)
	収蔵資料展「古い道具とむかしのくらし」	9月5日(土)～3月21日(月祝)
大多喜城分館	収蔵資料展「武家の意匠」	7月9日(木)～10月18日(日)
	特別公開Ⅰ「江戸風俗図屏風」	3月20日(金)～4月21日(火)
	特別公開Ⅱ「重要文化財 大薙刀」	9月17日(木)～10月18日(日) 28年3月17日(木)～4月19日(火) 12月10日(木)～28年2月14日(日)
分館 海の博物館	マリンサイエンスギャラリー「クラゲ展」	2月14日(土)～5月6日(水祝)
	収蔵資料展 夏休みスペシャル「外房・川の生きものミニ水族館」	7月18日(土)～8月31日(月)
	マリンサイエンスギャラリー「毒をもつ海の生きものー食べるため・食べられないためー」	28年2月27日(土)～5月8日(日)

(3) トピックス展

	タイトル	開催期間
本館	おしゃれ虫 カタゾウムシ	10月24日(土)～12月20日(日)
生態園	千葉県新指定文化財展	28年1月30日(土)～2月28日(日)
	妖怪と野鳥	6月9日(火)～9月29日(火)
	どんぐり～花から実への大変身！～	10月20日(火)～28年1月24日(日)

(4) 講座観察会等

	講座観察会等	回数
本館	講座・観察会・イベント	131回
	ミュージアムトーク	116回
	山のフィールドミュージアム	11回
大利根分館	講座・体験教室	48回
	川のフィールドミュージアム	4回
大多喜城分館	講座・体験教室	18回
分館海の博物館	講座・観察会・タッチプール	84回

5 収蔵資料

(点)

	収蔵 点数	内訳						
		動物	植物	地学	歴史 民俗	貴重書	生態 環境	図書等
本館	870,446	261,903	413,316	34,389	7,533	5,447	18,472	129,386
大利根分館	3,698	574			3,124			
大多喜城分館	1,916				1,916			
分館海の博物館	61,350	38,451	7,384					15,515
計	937,410							

(平成27年3月末現在)

6 入館者数

(人)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
本館	146,570	174,516	193,443	184,059	197,601
大利根分館	14,528	25,166	29,046	36,743	37,814
大多喜城分館	76,464	77,494	82,801	82,292	104,134
分館海の博物館	65,768	59,817	63,926	61,210	68,835
計	303,330	336,993	369,216	364,364	408,384

(平成27年3月末現在)

7 予算

平成27年度当初 283,115千円(職員費除く事業費)

8 課題

(1) 近年の国の動向や地域社会のニーズへの対応

「新しい時代を切り拓く生涯学習進行方策について～知の循環型社会の構築を目指して～」中央教育審議会答申(平成20年2月)

・社会教育施設等のネットワーク化～公民館、図書館、博物館等の活用～

(2) 事業費の財源確保

II 博物館・図書館・公民館との連携事業の実践例

1 事業の名称・実施期間

文化庁 地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業

博物館・図書館・公民館との連携による地域文化発信事業

平成26年度～28年度

2 事業主体

千葉県博図公連携事業実行委員会

構成団体：千葉県立中央博物館(中核館)・八千代市立郷土博物館・袖ヶ浦市郷土博物館

千葉県立図書館・君津市公民館

3 事業概要

千葉県では現在、少子高齢化による過疎化や開発による地域社会の変貌が著しく、その土地に根差した伝承や習俗の喪失は急速に進んでおり、こうした状況は看過できない。そこで、県内で伝承されている「もののけ」等の情報を集め、発表会を行うとともに、一般に親しみやすい報告書の作成、展示キットの制作、絵本、ガイドブックの制作、展示による一般公開を行い、情報共有と発信、情報提供および連動型活動といった地域社会との協働の基盤的モデルを検討する。

平成26年度は、県内図書館・博物館等に「もののけ情報箱」を設置したり、地域の公民館や博物館の事業として「もののけ調査隊」を結成したりするなど、広く一般の参加も呼びかけて直接情報収集を行い、集まった情報を集約し、県民向けの発表会を開催するとともに、一般向けの解説書の発行を行った。また、調査成果を活かして、巡回展示パネル等を制作し、関係機関で展示を行った。

平成 27 年度は、さらにこれらの調査成果を集大成し、博物館での展示会による一般公開を行うとともに、図書館や公民館での巡回展示や絵本づくり等のイベントをとおして、博物館・図書館・公民館における情報発信の体系を構築する。また、次年度へ向けての博物館・図書館・公民館の連携方法についても検討を継続している。

平成 28 年度は、過去 2 年間の事業を振り返り、検討会議、シンポジウム等を行い、社会教育施設のネットワーク化のモデルをまとめる予定である。

4 構築しようとする連携モデル

博物館を取り巻く状況は、昨今の社会状況を受け急速に変化している。「地域とともにある博物館」「開かれた博物館」などという言葉がよく聞かれるが、その示す姿は定かではなく、従来の研究重視の地域博物館では県民のニーズに十分に応えることは難しくなっている。そこで、日頃の活動をより県民に近く展開する図書館・公民館と連携し、より地域社会に踏み込んだ活動を行うためのモデル構築を検討する。

これは、構成団体の特性を生かし、相互に連携して、地域（市民・県民など）により良い成果を提供する試みであり、各機関の得意分野を生かすことで、今までない新たな事業を創造するものである。そのためには各機関の情報の共有化と、活動の連動化を図り、より幅を持った活動を行うための体系を構築する必要がある。

また、地域社会で蓄積された情報の共有化を図るにあたり、親しみやすく、地域環境および伝承文化を象徴するものを取り上げ、各博物館・図書館・公民館および地域住民との協働のためのしくみを形成する。これにより、各博物館・図書館・公民館が連動して活動をする場所をより広げるとともに、地域社会で蓄積された情報を広く収集し、地域社会へ還元する機会を設けることができるようになると思う。

5 実感した各社会教育施設の特性

	特 性
博物館	<ul style="list-style-type: none"> ・学芸員がいる ・豊富な収蔵資料がある ・セキュリティーの高い展示設備がある →専門的な情報を資料と研究成果で提供している
図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・司書がいる ・豊富な図書がある ・県内図書館のネットワークが確立している ・利用者が多い →多様な情報を図書で提供している
公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に密着している ・市民参加のイベントになれている ・学術、芸術、スポーツなど幅広い活動をしている →生活に即する情報と人との交流の場を提供している